

# 日本人とオーストラリア人の コミュニケーションの違いに ついて！

## 目的

今回僕はオーストラリアでたくさんの人々と  
コミュニケーションを取ることや話をするのが  
出来てすぐ自分のためになりました。  
なのでこの経験をたくさんの人々と共有したい  
のでこのテーマにしました。

## オーストラリア人と日本人のコミュニケーションの違い (初対面)

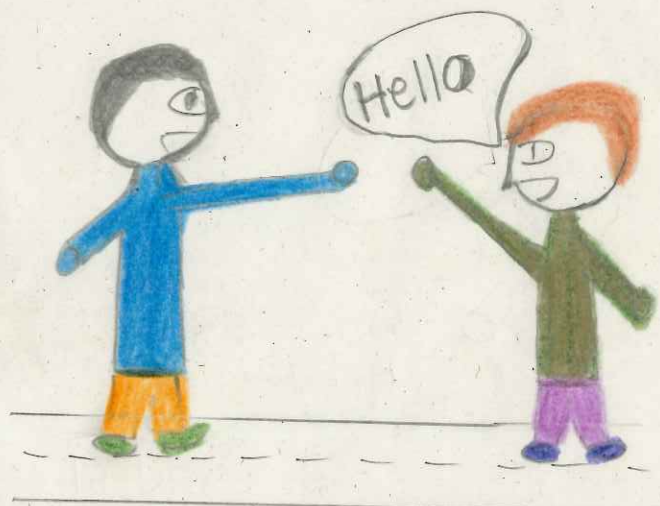
オーストラリア人と日本人のコミュニケーションの  
違いの一つは初対面からできています。  
日本人の場合真面目な人が多いので相手の人に  
良い印象でいてほしいという気持ちが強くなって  
最初あまり話をする人が少ないけどたくさん  
出会う回数が増えていくにつれて会話が  
はずんできたり、スキンシップの数が増えてくる人が  
多いと思います。オーストラリア人の場合は  
相手のことにすごく興味がある人が多いので  
オーストラリア人は相手の印象より相手の情報が  
欲しいのでたくさん質問する人が多かったです。  
それで相手のことをもっとたくさん知ろうとする人が

夕がたです。(握手、ハイタッチなど...)



オーストラリア人と日本人のコミュニケーションの違い (町やどこかで出会ったとき)  
 日本人の場合はどこかで会ったときは仲が良い人以外はこまにちよなでとあいさつだけをして終る人が多いと思います。でもオーストラリアの人は、何回かに出会ったらず"ハイタッチ"をする人が多いです。日本

オーストラリア



オーストラリア人と日本人のコミュニケーションの違い(店)

日本の店に入ると店員さんが「いらっしゃいませ」と言っていますがオーストラリアでは言っている店といていない店がありました。日本の場合レジの店員と話すことはありませんが、オーストラリアの場合ほとんどの店員が「How are you?」とたずねている人が多かったです。知らないレジの人でも「How are you?」と声をかけているような話をする人が多かったです。

## オーストラリアの I'm sorry

オーストラリアではあまりたいしたことではなかったら「I'm sorry」を使わないほうがいいと思います。日本の場合なにがやってもらったときは「すみません、ありがとうございます」などと言いますが、オーストラリア人にもにかしてもらったときなどはあまりあやまらず「I'm sorry」ではなく「Thank you」を使うといいと思いました。「I'm sorry」は自分が悪いことをしてしまった時以外には使わないほうがいいと思いました。

(おまけ) オーストラリア人に「I'm sorry」と言うと「That's ok!」と返してくる人が多かったです。

英語があまり話せない人としても外国人と  
コミュニケーションをとるためには...?』

自分は派遣団の中で一番話せてなかった  
と思います。でもたくさんのおオーストラリア人と  
コミュニケーションをとることができました。  
なぜなら「ジェスチャー」を使ったからで、  
コミュニケーションを取るためには  
正しい英語が話せないとためたと思っても  
いいと思いますが、大切なのは自分の思っていること  
伝えたいことが相手に伝わることをできたから  
コミュニケーションをとったといえると思います。  
なので「英語がうまく話せない人でも「ジェスチャー」を  
使ったり単語をききとらにつなげていくだけでも  
いいので話してみてください。そうしたら  
相手も自分の気持ちにこたえて理解しようと  
してくれます。

まとめ、今回僕が学んだことを、あなたが身近な人に伝えてほしい  
です。そして、あなたが町中で外国人に出会ったら、自分が  
声をかけたいと思いました。